

令和4年度 宇都宮市立上河内東小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1)基本目標

人間尊重の精神を基盤として、「心の教育」の充実を図り、社会の変化に対応できる徳・体・知の調和のとれた、心身ともに健康で創造力に富む、人間性豊かな児童を育成する。

(2)具体目標

○仲良く助け合う子（やさしく） ○がまん強くやりぬく子（つよく） ○よく考え進んで学ぶ子（かしこく）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

目指す学校像「楽しくいきいきした学校・やさしさのあふれる学校」を達成させるために

児童一人一人が意欲をもって精一杯活躍し、達成感や満足感を十分感じながら豊かな人間力を磨くことが出来る魅力ある学校を全職員で創造していくとともに、保護者や地域の協働のもと学校の教育力の活性化を図る。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

人間力の基盤となる「豊かな心」「健康な体」「確かな学力」を達成させるために

(1)豊かな環境、保護者や地域の教育力や全職員の創意工夫を生かした特色ある教育活動を推進し、魅力ある学校づくり、持続可能な学校づくりを目指す。

(2)コミュニケーション能力を高め、望ましい人間関係を構築する。思いやりの心や規範意識を高め、人とよりよくなかかわりながら活動する環境づくりを行う。

(3)自ら健康・安全を考え実践する能力を育成する。生涯にわたって健康・安全な生活ができるよう、積極的に体づくりや食育を推進する。

(4)確かな学力の向上を図る。主体的・対話的で深い学びを実現する授業の工夫・改善を重ねることにより、基礎学力の確実な定着を図り、思考力・判断力・表現力を育む学びに向かう集団作りに努める。

(5)特別支援教育を踏まえた児童理解や学級経営に努める。

○(6)小中一貫教育を生かした教育計画の工夫・実践と上河内地域学校園構想と連携した教育活動の実践に努める。

(7)教育公務員としての使命を自覚し、協働・同僚性を大切にしながら、教職員としての資質・能力の向上を図るとともに勤務時間を意識した業務改善を推進する。

[上河内地域学校園教育ビジョン]

かしこく、たくましいゆずっ子の育成

～基本を身につけ、人とつながり、夢に向かって生きる子どもを育てよう～

4 教育課程編成の方針

(1)各教科（特別の教科道徳を含む）、外国語活動（外国語科）、特別活動、総合的な学習の時間の教育課程表及び年間指導計画を編成するにあたっては日本国憲法・教育基本法・学校教育法及び同施行規則・小学校新学習指導要領・栃木県教育委員会の指導指針並びに宇都宮市学校教育の重点の示すところに従い、学習指導要領を踏まえ、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、特色ある教育課程を編成する。

(2)「うつのみや“いきいき学校”プラン」「宇都宮市学校教育スタンダード」「うつのみや元気っ子プロジェクト」における目標を具現化し、豊かな人間力を磨くために、目指す児童の姿とそれを実現するための学校教育のあり方や具体的方策を明らかにした教育課程を編成する。

(3)「小中一貫教育」の趣旨を理解するとともに、地域学校園内で連携をとりながら、地域の実情や学校の実態を踏まえた教育課程が編成できるように配慮する。

(4)学校教育目標の具現化を図るため、学校経営方針や努力点・学校課題などを踏まえるとともに、前年度の学校マネジメントの評価・教育課程実施の反省（学校自己評価）・児童や地域の実態を十分に考慮して編成する。

(5)小学校新学習指導要領の趣旨を十分理解するとともに、教育活動全般にわたって徳・体・知の調和のとれた、思いやりあふれる豊かな心と自ら学び自ら考える「生きる力」を育むことを目指して「主体的・対話的で深い学び」が実現できる編成を行う。

(6)児童が明るく楽しく生き生きと取り組める特色ある学校づくりを目指し、3あい運動との関連を図りながら、異年齢集団による交流活動や教師と児童による主体的活動の推進と、意図的・計画的な実践化が図れる教育課程の編成に努める。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

<p>【 学 校 運 営 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘り強さと自己調整力を兼ね備えた豊かな心と確かな学力の調和の取れた育成を目指し、教職員が勤務時間を意識しつつ、協調性と同僚性を大切にしながら互いに高め合える学校経営の推進 <p>【 学 習 指 導 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し、生き生きと学び合う児童の育成 ～主体的・対話的な学習の推進を目指して～ <p>○小中一貫教育カリキュラムの推進や地域学校園としての学習ルール作成</p> <p>【 児 童 生 徒 指 導 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場に立って考え、人とよりよくなかかわることができる児童の育成 <p>○基本的な生活習慣を身に付け、きまりを守って行動する児童の育成</p> <p>【健康（体力・保健・食・安全）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで体力の向上と健康の保持増進に取り組み、目標に向かって努力する児童の育成 ・ICTの有効活用による、教育活動の充実
--

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
児童の姿	<p>A1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員・保護者 「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒児童の肯定的回答85%以上 ⇒教職員・保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 授業の中に、効果的に話し合い活動を設定し、協働的な学習活動をととして学習のねらいが深まるように工夫する。</p> <p>② 自分の意見を持ち、表現する力を身に付けさせるために、児童が全体の前でスピーチしたり、考えたことを書いたりする機会を意図的に設定する。</p> <p>③ 児童が主体的に学習に取り組めるよう、授業のめあてを理解し、見通しをもって学習を進め、振り返りで身に付いたことを確認できるような授業の実践に努める。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答 児童95.5%，教職員100%，保護者88.6% 指標を上回った。 <p>① 授業の中に、効果的な話し合い活動を設定し、協働的な学習活動をととして学習のねらいが深まった。</p> <p>② 児童が全体の前でスピーチしたり、考えたことを書いたりする機会を意図的に設定したことで、自分の意見を持ち、表現する力が身に付いてきた。</p> <p>③ 授業では、めあてを理解し、見通しをもって学習を進め、振り返りで身に付いたことを確認するようにしたことで、児童が主体的に学習に取り組めるようになった。</p> <p>【次年度の方針】 ①②③を継続して行う。</p>
	<p>A2 児童は、思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員・保護者・地域 「児童は、誰に対しても思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 思いやりや助け合いの心を育てられるように、考え、議論する道徳教育の充実に努める。</p> <p>② 心が豊かになる読書活動の充実に努める。</p> <p>③ 人権教育を推進する。 ・人権標語の募集・掲示など人権週間の取組の工夫 ・児童集会の実施 ・いじめゼロ月間の取組</p> <p>④ 学級活動の内容を工夫する。 ・エンカウンターなど人間関係づくりのスキルの実践 ・集会活動の工夫・実践</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答 児童98.2%，教職員100%，保護者92.8%，地域100% 指標を上回った。 <p>①、④ 授業の実践をし、思いやりの心の育成につながった。</p> <p>② 朝の学習や各教科内で、読書活動の充実に努めたことで、心の豊かな児童が育ってきている。</p> <p>③ 人権について意識して行動している児童の姿が多く見られ、集会の内容なども充実していた。</p> <p>【次年度の方針】 ①②③④を継続して行う。 ・大多数の児童は、思いやりの気持ちが育ってきている。一部の児童への指導・支援を、全職員共通理解のもとに取り組んでいく。</p>

目 指 す 児 童 の 姿	<p>○A3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員 「児童は、きまりやマナーを守って生活している。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 「よい子の一日」の内容を意識して生活できるようにするために、重点化した生活目標を設定し、定期的に振り返る機会を設け、定着を図る。</p> <p>② 生活目標を守るよう指導を繰り返すとともに、帰りの会で振り返る場を設けて定着を図る。</p>	B	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 児童 94.6%, 教職員 100% 指標を上回った。</p> <p>① 「よい子の1日」を定期的に振り返る機会をもつことで、きまりを守って生活することができるようになってきた。</p> <p>② 月目標を設定し、帰りの会で振り返る場を設けることできまりやマナーの定着を図った。</p> <p>【次年度の方針】 ①については、「よい子の1日」の重点項目を教室等に掲示するようにする。「よい子の1日」の指導内容について、教職員の共通理解のもとで指導の徹底を図る。</p> <p>②を継続して指導していく。</p>
	<p>○A4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員・保護者・地域 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① あいさつ運動について、児童会代表委員や高学年が中心となったもの、地域学校園の中学生と協力したもの、一斉下校時の班単位のものなど、全児童が関わる取組を工夫する。</p> <p>② 行事等の学校公開の際や登下校の際にも、保護者や地域の方へもしっかりあいさつができるよう指導の工夫・改善を図る。</p>	B	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 児童 99.1%, 教職員 100%, 保護者 97.2%, 地域 100% 指標を大幅に上回った。</p> <p>① 小中一貫教育の取組として、中学生が小学校へ出向いてのあいさつ運動、一斉下校時の代表児童によるあいさつ活動など、充実した取組を行うことで、あいさつの習慣化を図ることができた。</p> <p>② 各学級においてもあいさつの大切さを指導したことにより、児童のあいさつへの意識が向上した。</p> <p>【次年度の方針】 ①②を継続して行う。</p>
	<p>A5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員 「私は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 児童の自己肯定感を高められるよう、児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、担任も認め励ます指導に努める。</p> <p>② 各教科の授業や各種検定等において、児童が目標をもって取り組む機会を設けるとともに、目標の達成に向けて努力している児童を称賛する。</p> <p>③ 道徳の授業において、目標をもって粘り強く取り組むことの大切さに気付かせるとともに、そうした実践に向けた意欲を高める。</p>	B	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 児童 94.6%, 教職員 100%, 指標を上回った。</p> <p>① 学級での指導に加え、友達の善い行いを書いた「ぼかぼかカード」を廊下に掲示するなど、児童が認め合う場を設定した。各学級でお互いを褒め合う活動を設定した。</p> <p>② 水泳・縄跳びでは検定カード、持久走ではがんばりカードを配付することにより児童の意欲向上を図った。</p> <p>③ 「希望と勇気、努力と強い意志」の価値について全学年重点的に指導した。</p> <p>【次年度の方針】 ①②③を継続して行う。 ②については、児童のがんばりをより認め、励ますように声掛けを行う。</p>
	<p>A6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 教職員・保護者 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 児童が自分の健康に気を付けて自ら健康を管理できるよう、学級活動、体育、学校行事と関連を図った保健指導や日常生活指導を行う。</p> <p>② 学校給食と各教科等との関連を図った指導のもと、栄養のバランスのとれた食事や望ましい食習慣の形成を図る。</p> <p>③ 危機を予測し自らの命を守り抜く行動力を育成するため、日常指導における安全指導を充実するとともに、交通安全教室、避難訓練等を計画的に実施する。</p>	B	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 教職員 100%, 保護者 98.6% 指標を大幅に上回った。</p> <p>① 感染症や熱中症などについて、行事や時期に合わせた指導を行い、自ら健康管理をできるよう指導を行った。特に感染症についての指導を重点的に行った。</p> <p>② 学校栄養士による食育の授業（担任とのT・T）を全学年実施し、児童の発達段階に合わせた食に関する指導を行った。また、児童が食に興味を持てるような掲示物を作成し、地産地消などの意識を高めるようにした。</p> <p>③ 交通安全教室や地震・竜巻等の避難訓練を計画し実施した。</p> <p>【次年度の方針】 ①②③を継続して行う。 ・室内での過ごし方や遊具・設備の使い方の指導内容について、教職員の共通理解のもと、指導の徹底を図る。</p>

	<p>A7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童・保護者 「私は、夢や目標に向かって、あきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 宮・未来キャリア教育年間指導計画に基づき、宮・未来キャリアパスポートを活用しながら、児童が自らのよさを自覚して夢や目標の実現に向けて取り組もうとする意欲や、望ましい勤労観や職業観を、全教育活動を通して意図的・計画的に育む。</p> <p>② 各学年で育てた作物を紹介する「収穫を祝う会」を実施し、児童の自主性や社会性を育成する。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 児童 94.6%, 保護者 88.1% 指標を達成した。</p> <p>① 学級活動を中心に自らの良さに目を向けさせ、宮・未来キャリアパスポートの活用を図った。</p> <p>② 学校農園や水田で育てた作物を使って地域・学校が協力して収穫を祝う会を行った。各学年で進んで作物の世話や収穫をし、発表内容を考え、主体的に練習したり発表を工夫したりするなど、充実した集会を運営することができた。</p> <p>【次年度の方針】 ①②を継続して行う。</p>
目 指 す	<p>A8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員 「児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 外国語活動(英語活動)を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。</p> <p>② 児童会主催のあいさつ週間や水曜日の朝の会で英語のあいさつをする機会を設け、児童が日常生活に英語を使う場を設定してコミュニケーション意欲の向上を図る。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 児童 97.3%, 教職員 94.1% 指標を上回った。</p> <p>① 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育った。</p> <p>② A L Tの来校日には、校内放送を英語で行ったり、日常生活ではA L Tと積極的にコミュニケーションを取ったりしたことで、意欲の向上を図ることができた。</p> <p>【次年度の方針】 ①②を継続して行う。</p>
児 童 の 姿	<p>A9 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童 「私は、宇都宮の良さを知っている。」 ⇒肯定的回答80%以上</p>	<p>① 生活科、社会科や総合的な学習の時間における宇都宮学の授業、市内や地域での校外学習等において、学習内容に関連させながら児童が身近な地域や宇都宮市の良さに気付く指導に努める。</p> <p>② 教師自身が宇都宮市の歴史、文化、伝統産業、特産物等について理解を深められるよう努める。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 児童 89.3% 指標を上回った。</p> <p>① 宇都宮学や生活科などの授業で地域を扱ったり、図書室の郷土資料に関するコーナーの活用を進めたりしたことで、宇都宮の良さに気づく児童が増えてきた。地元の食材を生かした給食のメニューを放送で伝えるなど食育との関連も図った。</p> <p>② それぞれの教員が、宇都宮の良さについて理解を深められるよう努めてきた。</p> <p>【次年度の方針】 ①②を継続して行う。</p>
	<p>A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員 「児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒ 肯定的回答85%以上</p>	<p>① 児童が情報通信ネットワークなどの情報手段に親しみ、適切に活用する能力を育成できるよう、授業において積極的にICT機器を活用する。</p> <p>② 授業内容との関連に配慮した教育図書や図書の整備充実や学校図書館の環境整備に努める。</p> <p>③ 各教科の学習活動にICTや図書、新聞を活用する機会を意図的に設定し、それぞれのよさを生かした活用能力の向上を図る。</p> <p>④ ①②③の様子を各種便り等で保護者に紹介する。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 児童 94.6%, 教職員 100%, 指標を上回った。</p> <p>① 授業において積極的にICT機器を活用し、児童が情報通信ネットワークなどの情報手段に親しみ、適切に活用する能力を育成することができた。</p> <p>② 教育図書の整備充実や学校図書館の環境整備に努めた。</p> <p>③ 各教科の学習活動にICTや図書、新聞を活用する機会を意図的に設定したことで、それぞれのよさを生かした活用能力の向上を図ることができた。</p> <p>④ 主に学校だよりで紹介することにより、保護者の肯定的割合も高かった。</p> <p>【次年度の方針】 ①②③④ともに継続し、ICT機器や図書等を積極的に活用していく。</p>

目 指 す 児 童 の 姿	<p>A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員 「児童は、誰に対しても思いやりの心をもっている。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 体験活動と関連を図った道徳科の授業を実施し、生命や人権を尊重する心や、人を思いやる心などを育てる。</p> <p>② 人権教育年間指導計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を計画的に実施する。</p> <p>③ 学校行事や各教科の授業等において、地域の方や高齢者と交流する機会を設け、感謝や相手を思いやる心を育む。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 児童98.2%、教職員100% 指標を大幅に上回った。</p> <p>① 関連する授業を実践することで、人を思いやる心が育っている。</p> <p>② 全教育年間指導計画に基づき、人権教育を計画的に実施することができた。</p> <p>③ 学校行事や授業等において、地域の方や高齢者と交流する機会を設けることができ、児童の意識も高まった。</p> <p>【次年度の方針】 ①②③を継続して行う。</p>
	<p>A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員 「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 総合的な学習の時間における環境教育や社会科の学習等を通して、環境問題への関心を高め、環境を大切にしようとする意識や態度を育成する。</p> <p>② 東日本大震災をはじめとした過去の災害の具体事例等から学ぶ教材を工夫し、防災教育を充実する。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 児童92.9%、教職員88.2% 指標を達成した。</p> <p>① 各教科等において各学年地球環境についての関心を高める指導を行い、環境を大切にしようとする態度が育ってきた。給食などの生活にかかわる場面では、ごみの分別や残食などを意識させることで、環境への負荷や「もったいない」という視点を育むことができた。</p> <p>② 地震時の避難訓練や駐在所職員による水難事故防止の講話を行い、児童の防災への意識を高めることができた。</p> <p>【次年度の方針】 ①を継続して行う。 ②については、防災だけでなく、SDGsへの関心を高め、日常生活においても環境に配慮した行動がとれるように働き掛けていく。</p>
	<p>OB1 児童は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員・保護者・地域 「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒肯定的回答80%以上</p>	<p>① 思いやりの心をもって友達を「さん付け」で呼ぶよう指導したり、生活目標に設定したりして、児童の意識化を図る。</p> <p>② 相手の気持ちを考えた言葉づかいができるよう道徳や学級活動での授業を実践する。また、学校・学年だよりなどを活用して、家庭の協力を依頼する。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 児童97.3%、教職員100%、保護者91.3%、地域100% 指標を大幅に上回った。</p> <p>① いじめゼロ月間・人権週間などの機会に言葉遣いを意識させることができた。授業中などの場で「～さん」の呼び方ができる児童は多くなっているが、休み時間などには友達の名前を呼び捨てで呼ぶ児童もいるため、粘り強く指導する必要がある。</p> <p>② 思いやり・親切、言葉づかいについての授業を実践するとともに、学校・学年だよりを活用して、家庭の協力を得ることができた。</p> <p>【次年度の方針】 ①②を継続して行う。</p>
	<p>B2 児童は、毎日、早寝・早起きができている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童「私は、早寝・早起きをしている」 ⇒肯定的回答80%以上 保護者 「学校は、保護者と連携して規則正しい生活習慣の形成に努めている」 ⇒肯定的回答80%以上</p>	<p>① 学校だよりや保健だより、学年だより、PTA学年部会などを通して、保護者に啓発する。</p> <p>② 年2回の生活習慣チェックの結果から見られた課題を踏まえて、養護教諭が保健指導を実施する。児童の自己管理能力を高めるとともに、家庭と連携した早寝・早起きの意識付けと生活習慣の定着を図る。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 児童83.9%、保護者94.3% 指標を達成した。</p> <p>① 各種便りを通して児童・保護者の意識向上を図った。</p> <p>② 年2回、生活習慣チェックを実施し、家庭と連携して児童の生活習慣の形成に努めた。保健委員会でポスターや放送などで児童に啓発し、早寝早起きについて意識付けすることができた。また、生活習慣チェックの結果を踏まえて、養護教諭が各学年に保健指導を実施した。</p> <p>【次年度の方針】 ①②を継続して行うとともに、家庭との連携に力を入れていく。</p>

目 指 す 学 校 の 姿	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 教職員 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 特別支援教育コーディネーターや児童指導主任を中心に、全校で特別な支援が必要な児童に関する共通理解を図り、一人一人のニーズを踏まえた支援を組織的に行う。</p> <p>② 特別支援学級の児童はもとより、通常学級においても、必要に応じて個別の支援計画を作成し、それに基づく合理的な配慮を伴う指導に努める。</p>	B	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 教職員 94.1% 指標を上回った。</p> <p>① いじめ等対策委員会や校内支援委員会等で共通理解を図り、組織的に対応を考え、支援できた。</p> <p>② 特別支援学級だけでなく、通常学級においても、合理的な配慮に伴う指導を行うことができた。</p> <p>【次年度の方針】 ①②を継続して行う。</p>
	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒肯定的回答90%以上 教職員・保護者・地域 「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる」 ⇒肯定的回答80%以上</p>	<p>① いじめ等対策委員会を設置し、定期的な情報共有、組織的な対応に努める。</p> <p>② 児童に対し思いやりや助け合いの心を育て、いじめの未然防止に努める。</p> <p>③ いじめの実態把握、早期発見・対応のためのアンケートや学校生活についての生活アンケートを年2回ずつ実施し、定期教育相談に生かす。</p> <p>④ いじめを認識した際は、正確に事実確認を行い、いじめを行った児童に対して毅然とした指導を行う。</p> <p>⑤ いじめを受けた児童の安全確保と、保護者を含め親身な支援を行う。</p> <p>⑥ 学年だより、学校だよりなどで、いじめ対策を保護者にPRする。</p>	B	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 児童 99.1%、教職員 94.1%、保護者 87.9%、地域 100% 指標を上回った。</p> <p>① 月に1度はいじめ等対策委員会を実施し、全教職員で情報共有を行い、組織的に対応した。</p> <p>② いじめゼロスローガンを全児童が作成することでいじめの未然防止につながった。</p> <p>③④⑤ アンケートを定期教育相談に生かし、早期発見することでいじめの対応を適切に行うことができた。</p> <p>⑥ 各学年代表のいじめゼロスローガンやいじめゼロ集会の取組等を学年だよりや学校だよりで保護者に伝える努力をした。</p> <p>【次年度の方針】 ①②③④⑤を継続して行う。 ・全教育活動を通して、様々な手立てを講じいじめを発生させないようにする。また、相手を傷つける言動に対して毅然とした態度で指導をする。</p> <p>⑥については、いじめに対する学校の方針や取組を積極的に説明したり、PRしたりする。</p>
	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童 「先生方は、一人一人を大切に、児童がともに認め励まし合う場をつくってくれている。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 児童の自己肯定感を高められるよう、児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、担任も認め励ます指導に努める。 【A5①再掲】</p> <p>② 教育相談、Q-Uアンケート等の結果を活用し不応傾向のある児童の早期発見と不登校の兆候や傾向の児童に係る校内全体の情報共有を図る。</p>	A	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 児童 97.3% 指標を大幅に上回った。</p> <p>① 学校では、児童の自己肯定感を高め、居がいのある学級づくりに努めた。</p> <p>② 教育相談を充実させたり、Q-Uアンケート等の結果を活用したりして、児童指導に取り組むことができた。</p> <p>【次年度の方針】 ①②を継続して行う。 ・児童の自己肯定感を高められるような学級経営に取り組むほか、職員研修を行い、不登校の発生を未然に防ぐようにする。また、不登校傾向のある児童の早期発見に努める。</p>

<p>目指す学校の姿</p>	<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 教職員 「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒肯定的回答80%以上</p>	<p>① 外国人児童等について全校で共通理解を図り、必要な支援やニーズを踏まえた支援を組織的に行う。</p> <p>② 児童が、国や文化の違い等を認め合い尊重できるよう、日常的な指導に努める。</p> <p>③ 特別な支援を必要とする児童の教育的ニーズを把握し、その力を高められるよう適切な指導や必要な支援を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答 教職員 94.1% 指標を大幅に上回った。 <p>① 今年度、外国人児童の在籍は無かったが、児童一人一人を大切に、特別な支援を必要とする児童に対して組織的に支援を行った。</p> <p>② 外国語活動や道徳などの学習の機会を捉えて、文化の違いなどを認め合える素地を養った。</p> <p>③ 児童の十分な学びを確保できるよう、児童の障害の状態や発達の段階に応じた指導や支援を行った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>①については、外国人児童を迎える際には、必要な支援を把握し、情報を共有していく。</p> <p>②③を継続して行う。</p>
	<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童 「私は、今の学校が好きです」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 児童の創意を取り入れた主体的活動が展開できるよう、学校行事・児童会活動・縦割り班活動などの活動内容を工夫する。</p> <p>② 各担任は、Q-Uアンケートの結果分析をするとともに、事例研究会等を実施し、児童一人一人が存在感のある学級経営を実践するための研修を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答 児童 97.3% 指標を大幅に上回った。 <p>① 児童の主体的活動が展開できるように学校行事や児童会活動を推進してきた。</p> <p>② 校内研修会を開き、全職員で分析することを通して、学級経営に生かすことができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>①②を継続して行う。</p>
	<p>A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 ⇒肯定的回答85%以上 保護者 「教職員は、児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細かな指導をしている。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① ねらいを明確にし、教材教具を効果的に活用しながら、振り返りで学びが実感できるような授業の実践を工夫するとともに授業力の向上に努める。</p> <p>② 授業やT・T、習熟度別学習で児童のつまずきの把握に努め、朝の学習や個別指導の充実を図りながら基礎・基本の定着を図る。</p> <p>③ 身に付けさせる基礎・基本をおさえ、つまずきをなくし、分かる授業を展開する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答 児童 98.2%、保護者 85.9% 指標を達成した。 <p>① 一人一授業と授業研究会を重ね、ねらいを明確にし、教材教具を効果的に活用しながら、振り返りで学びが実感できるような授業の実践を検討したことで、授業力の向上を図ることができた。</p> <p>② 児童のつまずきの把握に努め、個別指導を充実させ、基礎・基本の定着を図ることができた。算数の習熟度別学習も効果的であった。</p> <p>③ 基礎・基本をおさえ、丁寧な分かる授業を展開することができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>①③を継続して行う。</p> <p>②については、T・Tやかがやきルームの効果的活用、朝の学習時の複数教員による指導の実践などにより、児童の学力の引き上げを工夫する。</p> <p>①②③の取組を各種便り等で保護者に積極的に紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深い学びにつながるよう効果的な指導法を皆で共有する。

目 指 す 学 校 の 姿	<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 教職員 「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒肯定的回答80%以上</p>	<p>① 打合せ等により、全教職員が定期的に情報を共有し、具体的な方策を検討し実践する。</p> <p>② 学校行事等に、全教職員が個性や能力を生かして共に活動することにより、協働意識を高める。</p>	A	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答 教職員 82.4% 指標を達成した。 <p>① 職員会議の他、週2回の打合せを行い、全教職員が共通理解を図って教育活動を実施できるようにした。</p> <p>② 全教職員とともに活動し協働意識は高まったが、更なるサポートを必要と感じていた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>①を継続して行う。</p> <p>②については、それぞれの教職員の持ち味を生かした活動を集約できるようなサポート体制を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員相互の業務内容を理解し、コミュニケーションを図りながら協力し合えるよう再確認する。
	<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 教職員 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒肯定的回答80%以上</p>	<p>① 学校の働き方改革の視点に立って教職員一人一人が、勤務時間を意識するとともに、チームを効果的に活用して業務改善を図る。</p> <p>② 教職員の負担軽減に向け、学校の組織運営の改善や、各種行事等の実施方法の改善を行う。</p> <p>③ 学習情報システムをはじめとした各種システムを効果的に活用し、業務を効率的に進める。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答 教職員 88.2% 指標を上回った。 <p>① 勤務時間の意識は向上したが、効果的なチームの活用には、更なる検討が必要である。</p> <p>② 行事終了後、速やかに振り返りを行い、実施方法等の改善策を検討することができた。</p> <p>③ 学習情報システムのほか、今年度導入されたさくら連絡網も効果的に活用し、業務の効率化を図ることができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>①については、小規模校の良さを生かし、様々な情報を共有することで、互いに助け合える環境づくりをする。</p> <p>②については、行事等の実施方法をさらに見直し、負担軽減に向けた改善を行う。</p> <p>③を継続して行う。</p>
	<p>○A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童 保護者 「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている。」 ⇒肯定的回答80%以上 保護者 「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒肯定的回答80%以上</p>	<p>① 地域学校園の子どもの実態や学校と地域の実態を踏まえた共通の教育活動を工夫する。(小中合同あいさつ運動・乗り入れ授業・中学校訪問)</p> <p>② 義務教育9年間の系統的な指導を見据えて、中学校においても継続的な指導が図れるよう、児童の引継を密に行う。</p> <p>③ 来年度の市全体での体系的な見直しに備え、早めの準備をおこなう。</p>	C	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答 児童 87.8%, 保護者 83.9% 指標を上回った。 <p>① 小中学校が連携した取組を行い、相互理解を図ることができた。</p> <p>② 児童生徒指導強化連絡会等を活用して、配慮が必要な児童に対する支援方法等について地域学校園内で共通理解を図ることができた。</p> <p>③ 地域学校園内で相談し、準備を進めてきた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>①については、地域学校園内で協議し継続する。</p> <p>②については、地域学校園各部会での決定事項を共有し、進化を図る。</p> <p>③を削除する。</p>

<p>目 指 す 学 校 の 姿</p>	<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 保護者・地域 「学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 地域協議会を定期的に開催し、学校経営方針への保護者、地域住民の意見反映や、学校関係者評価の実施などを行う。</p> <p>② 学校だよりや学年だより、ホームページ、授業参観等を通して、学校の情報を積極的に発信し、地域ボランティアや保護者に学校行事や授業への支援などへの協力・参画を得ていく。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 保護者 95.7%、地域 86.7% 指標を達成した。</p> <p>① 地域協議会を定期的に開催し、学校の経営方針や取組を説明することにより、委員から適切な意見や評価を得て教育活動に生かすことができた。</p> <p>② 学校だより等により、学校の情報を家庭や地域に積極的に発信することで、学校教育への理解を深めることができた。また、地域ボランティアや保護者に、学校行事や授業への参画・協力を得て、教育活動の充実を図ることができた。</p> <p>【次年度の方針】 ①②を継続して行い、より、参画・協力を得られるように声を掛けていく。</p>
	<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童 「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい」 ⇒肯定的回答85%以上 保護者・地域 「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 外部講師による出前授業や、学習支援ボランティアを活用した授業を積極的に取り入れ、内容の見直しや活動を工夫することで、よりよい活動ができるようにする。</p> <p>② 地域協議会の協力や地域の教育力を取り入れた体験的な活動を積極的に取り入れる。 ・野菜や米作りなどの農業体験 ・社会科の地域学習など</p> <p>③ 生活科や総合的な学習の時間を中心として、地域ボランティアを活用した学習を進められるようにするとともに、実践の記録を残して、継続して行えるようにする。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 児童 97.3%、保護者 95.7%、地域 86.7% 指標を達成した。</p> <p>① 命の授業、薬物乱用防止教室、ふれあい文化教室などの出前授業を積極的に取り入れ、充実した学習を展開し、児童の興味関心を高めることができた。</p> <p>② 地域の教育力を活用し、田植え・稲刈りなどの農業体験や、いちご農園見学を継続して実施することができた。</p> <p>③ 生活科のまち探検や家庭科のミシンを使った製作等においてボランティアを活用することにより、安全安心に学習を進めることができた。また、次年度以降も継続して実施できるよう計画書等を整えた。</p> <p>【次年度の方針】 ①②③を継続して行う。</p>
	<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 教職員・保護者 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 毎月、各教室、特別教室、廊下、体育館等を、チェック項目に基づく安全点検を実施し、危険箇所については迅速な改善や修繕に努める。</p> <p>② 危機管理マニュアルを整備するとともに、避難訓練や引き渡し訓練等を通して、火事、地震、竜巻、不審者侵入等の不測の事態への備えを万全にする。</p> <p>③ 熱中症予防対策、新型コロナウイルス感染予防対策、インフルエンザ蔓延予防対策など、時期に応じた保健指導管理に努める。</p>	<p>【達成状況】 ・肯定的回答 教職員 94.1%、保護者 92.9% 指標を上回った。</p> <p>①②③ 適切に計画し、実施している。特に感染症対策について重点的に取り組み、保健指導・管理に努めた。</p> <p>【次年度の方針】 ①については、校内の除草に力を入れ、安全に校庭で過ごせるようにする。 ②③を継続して行う。 ・常に情報収集に努め、状況に応じて関係者で協議して、適切に対応できるようにしていく。</p>

	<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員 「児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 児童が情報通信ネットワークなどの情報手段に親しみ、適切に活用する能力を育成できるよう、授業において積極的にICT機器を活用する。【A10①再掲】</p> <p>② 授業内容との関連に配慮した教育図書の整備充実や学校図書館の環境整備に努める。【A10②再掲】</p> <p>③ 読書の時間や読み聞かせの時間、図書だよりの発行などを通して児童の読書意欲を喚起する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答 児童 94.6%，教職員 100%，指標を上回った。 ① 授業において積極的にICT機器を活用し、児童が情報通信ネットワークなどの情報手段に親しみ、適切に活用する能力を育成することができた。【A10①再掲】 ② 教育図書の整備充実や学校図書館の環境整備に努めた。【A10②再掲】 ③ 教科書の単元末で扱われている図書の紹介や読み聞かせのほか、図書だよりの内容を工夫することで、児童の読書意欲を喚起することができた。 <p>【次年度の方針】</p> <p>①②を継続して行う。ICT機器や図書等は十分に整備されているため、それらの活用について次年度も充実させていく。</p> <p>③については、学年や目的に合った本を意図的に読めるようにしていく。</p>
<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B3 児童は、縦割り班活動（東っ子クラブ）を仲良く行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 児童・教職員 「児童は、東っ子クラブの活動で、仲良く協力している。」 ⇒肯定的回答85%以上</p>	<p>① 東っ子クラブによる集団遊びを実践し、異学年交流を進めながら仲良く遊べるようにする。</p> <p>② 清掃や集会活動を東っ子クラブで実施し、協力して仕事や活動ができるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的回答 児童 99.1%，教職員 100% 指標を大幅に上回った。 ①② 感染症対策のために制限された活動もあったが、実施方法を工夫して行った。集団遊びやスポーツタイムの縄跳び練習では、学年に関係なく仲良く遊んだり、上級生が下級生に優しく接したりする姿が見られた。 <p>【次年度の方針】</p> <p>①②を継続して行えるよう、感染症対策を施した上で、縦割り半活動を通じた異学年交流の機会を確保する。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

学校マネジメントの全体アンケートの結果は、90%以上の肯定的回答が多く、28ある評価項目は、全て数値指標を達成することができた。これは、本校の学校教育目標の具現化に向け、全教職員が、目指す児童像の合言葉である「やさしく・つよく・かしこく」を意識しながら熱意をもって学習指導や児童指導に取り組んできたことが、児童や保護者、地域住民に認めていただけている結果であると考えられる。

教職員・保護者・地域住民・児童の肯定的回答が全て高い数値にあるのは、A4「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」（教職員 100%，保護者 97.2%，地域住民 100%，児童 99.1%）、B1「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている。」（教職員 100%，保護者 91.3%，地域住民 100%，児童 97.3%）、A3「児童は、きまりやマナーを守って生活している。」（教職員 100%，保護者 97.1%，地域住民 100%，児童 94.6%）である。これは、長年、学校と家庭・地域が一体となってあいさつやていねいな言葉づかいの指導に取り組み、児童の規範意識を育ててきた成果である。

肯定的回答の割合が昨年度より5ポイント以上増加した項目は、B2「学校は、保護者と連携して、規則正しい生活習慣の形成に努めている」（児童の肯定的回答 R3：78.2%→R4：83.9%）、A14「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」（保護者の肯定的回答 R3：82.9%→R4：87.9%）である。

規則正しい生活習慣については、児童の自覚が見られてきたものの、改善の余地があるため、生活の基盤である家庭と連携しながら引き続き指導していく必要がある。また、いじめ対策については、いじめが起きないよう全教職員がいじめは絶対許さないという姿勢で今後も指導に当たっていく。

一方で、昨年度より5ポイント以上減少した項目は、A18「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。」（保護者の肯定的回答 R3：91.8%→R4：85.9%）、A21「学校は、『小中一貫・地域学校園』の取組を行っている。」（地域住民の肯定的回答 R3：92.3%→R4：86.7%）、A22・A23「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」（地域住民の肯定的回答 R3：100%→R4：86.7%）である。

分かりやすい授業やきめ細かな指導については、児童の肯定的回答は98.2%という高い数値にあるものの、昨年度より減

少しているため、より一層、授業力の向上に努めるとともに個別指導の充実を図っていく。「小中一貫・地域学校園」の取組については、定期的に地域学校園内の教職員が研修会を行い、今年度も小中合同あいさつ運動や乗り入れ授業などを行ってきた。また、家庭・地域・企業等との連携については、外部講師による出前授業や、学習支援ボランティアを活用した授業を深化・拡充させてきた。今後は、これらの取組が広く伝わるよう積極的にPRし、学校の教育活動に地域からの協力をさらに得られるよう工夫していく。

7 学校関係者評価

令和5年2月14日（火）に開催した「第4回上河内東小学校地域協議会」において、学校関係者評価を行った。地域協議会委員から出された意見は、以下の通りである。

- ・ アンケート結果は全体的に高い評価であり、教育理念に基づいて学校が真剣に指導している賜物であると言える。
- ・ 子供たちは、あいさつがよくできており、感謝の気持ちを伝える態度も身に付いている。
- ・ 稲刈りや収穫を祝う会など子供たちがわくわくするような活動が学校の魅力につながっていると感じている。上河内東小の魅力や他校にはない取組を積極的にアピールしてほしい。
- ・ 地域が一体となって子供を育てることが大切である。子供たちの活動をより充実させるためには地域の力が必要だと思うので、ボランティアの募集をもっとPRして協力していただける方を増やしていきたい。
- ・ 小中一貫教育や地域学校園の取組は素晴らしい。本校は小規模校なので、地域学校園内の学校が交流する活動を今後も大切にしてほしい。
- ・ 登校渋りのある児童に対して、担任の先生はもちろんのこと、学校全体で温かい対応をしていることに感謝している。
- ・ 子供はSNSを使って動画を見る時間が長くなり、生活習慣にも影響を及ぼしている。学校と家庭の両方向から指導をする必要がある。また、いたずら動画はよくないということも教える必要がある。
- ・ 早寝早起きなどの生活習慣の乱れについては、習い事が関係しているかもしれないので把握するとよい。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で制限された活動もあったが、今後、状況をみながら交流の機会を増やしていけるとよい。
- ・ 時代の転換期にきているため、子供たちが様々な変化に対応できるような指導を学校にお願いしたい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

全体として、市内の小学校の平均と比較しても良い評価をいただくことができた。学校職員の自己評価や保護者、児童、地域協議会委員の皆様から寄せられた御意見を真摯に受け止め、次年度の方策について検討していく。

【学校運営】

- ・ 全体的に児童は落ち着いて学校生活を送っており、学校運営が概ね良好に行われていると考えられる。
- ・ 本校ならではの豊かな環境や地域人材を生かした特色ある教育活動を推進していく。
- ・ 各種たよりや学校ホームページ、授業参観等による情報発信を積極的に行い、地域とともにある学校づくりに努める。
- ・ 教職員の協働意識を高め、一人一人が個性や能力を生かしながら協力して業務に取り組めるようにする。

【学習指導】

- ・ 職員研修を活性化するなどして教員の指導力向上に努め、「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行っていく。
- ・ 「ねらい」と「振り返り」を明確にした分かる授業を展開し、基礎・基本の定着を図る。
- ・ ICT機器と図書等を効果的に活用し、授業の質的向上を図る。

【児童生徒指導】

○ 今後もきまりやマナーを守って生活できるよう規範意識を育成し、あいさつや丁寧な言葉づかいについても地域学校園合同の取組を生かしながら継続して指導していく。

- ・ 児童の自己肯定感を高められるような学級経営に取り組み、不登校の発生を未然に防ぐとともに、不登校傾向にある児童の早期発見に努める。
- ・ いじめ等対策委員会を設置して組織的な対応に努め、全教職員がいじめは絶対許さないという姿勢で指導に当たる。

【健康（体力・保健・食・安全）】

- ・ 規則正しい生活習慣を身に付けられるよう「生活習慣チェック」を活用し、生活の基盤である家庭と連携しながら粘り強く指導していく。
- ・ SDGsへの関心を高め、日常生活においても環境に配慮した行動がとれるように働き掛けていく。